

釧路湿原川レンジャー News

2008 Vol.2

第1回「釧路湿原川レンジャー学習会」 が開催されました

平成20年6月20日(金)
場所：釧路町岩保木
標茶町茅沼
鶴居村下幌呂

平成20年6月20日(金)に、28名の参加で第1回釧路湿原川レンジャー学習会が開催されました。

今年度最初の学習会は、毎年、釧路開発建設部が釧路町立遠矢小学校と協働で行っている「花咲かじいさんプロジェクト」に参加し、岩保木周辺の堤防で植樹作業とポット苗づくりを行い、その後、標茶町茅沼でハルニレの種を採り苗床をつくりました。鶴居村下幌呂では釧路湿原自然再生事業の1つとして検討されている幌呂地区湿原再生についての学習と、湧水の観察を行いました。

今年も「花咲かじいさんプロジェクト」に参加

このプロジェクトは平成5年から続けられており、釧路湿原周辺の自然木から採取した種から育てた苗木を植樹(生態学的混播法)するもので、当日はアオダモ、イタヤカエデ、オニグルミ、ケヤマハンノキ、シラカンバ、ナナカマド、ハシドイ、ハンノキ、ミズナラ、ヤチダモなど32種類、約350本の苗木を遠矢小学校6年生77名と一緒に実施しました。



植樹作業の説明を聞く参加者



植樹サークル



1サークルに10本の苗を植樹



サークル内の位置を決めて植樹



2人で仲良く植樹作業



植樹サークルの前で記念写真

ポット苗づくりと種採り・苗床づくりに挑戦

毎年、植樹をしている苗は、遠矢小学校の5年生がつくっていますが、今年は植樹に参加した川レンジャーもポット苗づくりに挑戦しました。ハンノキ、イヌエンジュ、カラコギカエデなど約300個のポット苗が出来上がりました。

午後からは茅沼に移動し、ハルニレの種採りを体験、その後、採取した種を播き3個の苗床が出来上がりました。



小さな苗を4～5本をポットに移植して出来上がり



ハルニレの種を採取



採取した種を丁寧に播きました



出来上がったポット苗の前で記念写真

数名がポット苗と苗床を「自宅で育てたい」と、持ち帰りました。元気な苗を育てていただきたいと思います。

湿原再生の地区と湧水を観察

鶴居村下幌呂に移動し、釧路湿原自然再生事業の1つとして検討されている「幌呂地区の湿原再生」について説明を聞いた後、小さな洞穴から釧路湿原にそそぐ湧水を観察しました。



幌呂地区の湿原再生を学習



洞穴からの湧水を観察



学習会に関するアンケート結果

先日、認証式の出欠をとる際に、川レンジャーの方により多く学習会に参加していただけるように、希望する開催曜日、時間帯、テーマについてアンケートを実施いたしました。124名の内、95名の方から回答いただきました。

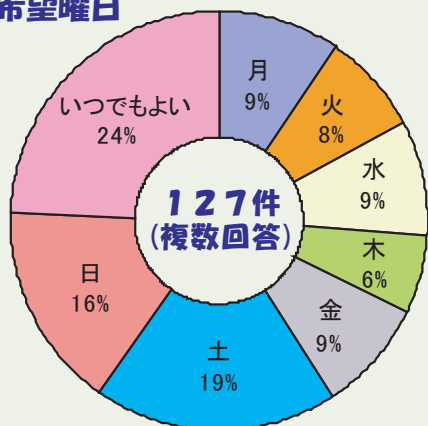
その結果、希望曜日は「いつでもよい」が24%、土曜日が19%、日曜日が16%となりました。平日では月、水、金が多い結果となりました。

希望時間帯では、全日が38%と最も多い結果となりました。

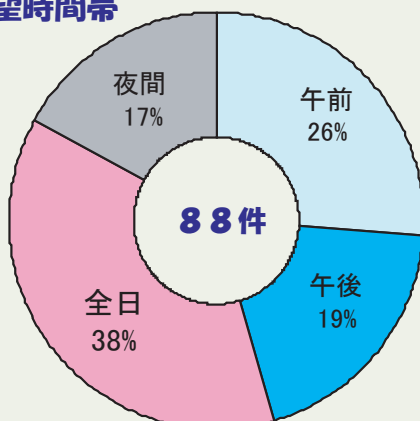
希望テーマで多かったのは、「釧路湿原」、「釧路川」、「自然再生」の順となり、「植物」、「河川工事」、「景観」に関する希望も多い結果となりました。

その他の希望テーマとしては「体験学習」、「外来生物」についての希望がありました。

希望曜日



希望時間帯



希望テーマ

